

令和元年度
CIEC 国際情勢シンポジウム
『建国70年、中国の今後を考える』

主催：一般財団法人国際経済連携推進センター(CIEC)

変動する国際政治・経済情勢を的確に捉え、対応策を検討することを目的に、専門家を委員とする「CIEC 国際情勢研究会」を非公開で行っています。

当財団では、同研究会委員を中心としたシンポジウムを毎年開催しています。本年は、2019年10月に建国70周年を迎えた中国を取り上げます。現在中国は、対外的には、米国との貿易協定の決着は不透明であり、国内的には、香港における大規模な反政府デモや新疆ウイグル自治区の人権抑圧問題等を抱えており、内憂外患の状況にあります。世界第2位の経済大国の中国の経済悪化は、世界経済を失速させる要因となり、わが国経済にも大きな影響を与える可能性があります。

このような状況を踏まえて、本シンポジウムでは、『建国70年、中国の今後を考える』をメインテーマに据え、政治、経済、軍事問題等、各分野の第一人者である講師（研究会委員及びゲスト講師）に、分析、論評して頂くとともに、会場内の皆様との質疑応答を通じて、影響の大きい中国の今後の行方について、議論を深めて参りたいと考えます。

記

1. 日時： 令和2年1月30日（木） 13：30～16：30（受付開始 13：00）
2. 場所： AP虎ノ門（Aルーム）
港区西新橋1-6-15NS虎ノ門ビル 11階 TEL：03-3501-2109
（地下鉄銀座線虎ノ門駅9番または都営地下鉄三田線内幸町A4出口徒歩3分）
※シンポジウム会場は11階です。直接11階までおいでください。
https://www.tc-forum.co.jp/ap-shinbashitoranomon/access/pdf/pdf_accessMap.pdf
3. 講師： 久保 文明 氏 東京大学大学院 法学政治学研究科 教授
香田 洋二 氏 ジャパンマリンユナイテッド顧問/元自衛艦隊司令官(海将)
高原 明生 氏 東京大学大学院 法学政治学研究科 教授
大橋 英夫 氏 専修大学 経済学部 教授
佐藤 考一 氏 桜美林大学 リベラルアーツ学群 教授
平岩 俊司 氏 南山大学 総合政策学部 教授
4. 後援： 日本商工会議所（依頼予定）
一般社団法人 日本貿易会（依頼予定）
独立行政法人 中小企業基盤整備機構（依頼予定）
5. 参加費： 2,000円（税込）
6. 問合せ先： 国際経済連携推進センター 担当 富所（とみどころ）、脇田（わきた）
7. 申 込： 1月27日（月）必着 ◆参加受付票はお送りしておりません。

※受付にて領収書をご用意します。

※お申込みの際、お手数ながら、領収書に記載する会社・団体名を正式名称でお知らせください。

※ご所属先欄に記載のない場合は、個人名でご用意いたします。

※学生の方は学校及び学部（専攻）をお知らせください。

*準備の都合上、キャンセルされる場合は1月29日（水）正午までにご一報願います。

令和元年度 CIEC 国際情勢シンポジウム

『建国70年、中国の今後を考える』

主催:一般財団法人 国際経済連携推進センター(CIEC)

プログラム

令和2年1月30日(木) 13時30分～16時30分

於:AP虎ノ門

開会 13:30～13:35

基調講演 13:35～14:00

高原 明生 氏 東京大学大学院 法学政治学研究科 教授
「中国政治の現状と展望」

基調講演 14:00～14:25

大橋 英夫 氏 専修大学 経済学部 教授
「中国経済のジレンマ～“国家の逆襲”vs“市場の帰還”」

基調講演 14:25～14:50

香田 洋二 氏 ジャパン マリンユナイテッド株式会社 顧問/元自衛艦隊司令官(海将)
「中国の今後:大胆な予測」

コメント 14:50～15:25

久保 文明 氏 東京大学大学院 法学政治学研究科 教授/CIEC 国際情勢研究会 座長
「米国の対中観の変化をめぐって」

佐藤 考一 氏 桜美林大学 リベラルアーツ学群 教授
「“一带一路”構想のきっかけと現状」

平岩 俊司 氏 南山大学 総合政策学部 教授
「二つのコリアと中国」

<休憩 10分>

討議・質疑 15:35～16:25

閉会 16:30

※発表者およびテーマは変更の可能性がございますこと、ご了承ください。